

## 総合計画審議会での基本構想(案)に係るご意見・ご提案に対する事務局案

| No. | 内容区分   | ページ | ご意見・ご提案の内容  | ご提案・ご意見に対する考え方・対応   |
|-----|--------|-----|---|---|
| 1   | 時代の潮流  | 5   | 時代の潮流の「価値観の変化・多様化」のところで、「こうしたことから、市民ニーズが複雑・高度化していくことが想定されるため、的確に対応していく必要性が高まっています。」とありますが、何に対して的確に対応していくかが分かりづらいので、例えば「市民ニーズに的確に対応していく」とした方が分かりやすいと思いました。   | 「市民ニーズ」の言葉を繰り返すため、「こうしたことから、複雑・多様化する市民ニーズに的確に対応していく必要性が高まっています。」に修正します。   |
| 2   | 時代の潮流  | 5   | 時代の潮流の「安全・安心に対する意識の高まり」の部分で、「大気汚染などの環境問題や特殊詐欺などの事件・事故の続発により、安全・安心に関する意識の高まっています。」とありますが、「事件・事故の続発」によって安心・安全に関する意識が高まっているのであって、「大気汚染などの環境問題」はまた別ではないかと思うので、「大気汚染に対する環境保全意識の高まり」という事を別に記載した方がいいのではないのでしょうか。 | 微小粒子状物質PM2.5や地球温暖化に関する各種報道がされていますが、事件や事故のように目に見える形で顕在化していないものの、様々な危険性を含んでいるため、安全・安心を考える上でひとつの重要な要素として捉えた記載であり、現状とします。<br>しかし、計画期間10年間の基本構想に相応しい文章となるよう「地球温暖化・大気汚染などの環境問題や尊い生命・財産を奪う事件・事故の続発により～」と修正します。 |
| 3   | 時代の潮流  | 5   | 時代の潮流の「安全・安心に対する意識の高まり」の部分で、環境分野では「環境を保全」という言い方をしております。防災・安全分野では「安全・安心」という言い方をしていますので、そこと整合性を図るのであれば、環境汚染などは、「環境の保全意識の高まり」とした方がいいと思います。   | 環境汚染は、事件・事故のように目に見える形で顕在化していないものの、様々な危険性を含んでいるため、安全・安心を考える上でひとつの重要な要素として捉えた記載であり、現状のままとします。<br>しかし、計画期間10年間の基本構想に相応しい文章となるよう「地球温暖化・大気汚染などの環境問題や尊い生命・財産を奪う事件・事故の続発により～」と修正します。                           |
| 4   | 時代の潮流  | 5   | 時代の潮流の「経済情勢」についてですが、財政のことや行政経営資源をどう配分するかということが書いてありますが、経済の情勢なので、例えば産業をこうしようとか、産業について触れなくてもいいのでしょうか。   | 今後10年間の方針の策定に当たり、大きな時代の流れを「潮流」として表現するもののひとつとして、大前提となる「経済」について触れているもので、産業については日本全体ではなく、長野市らしさに記載しているところです。   |
| 5   | 長野市らしさ | 6   | 長野市らしさの「地理的な特性」の部分で「季節風の影響を受けにくい」というのが出てきて、その次に「日本海側の気候の特色も併せ持っている」となっていますが「日本海側の気候の特色」というのが「季節風の影響」ではないかと思うので矛盾していないのでしょうか。  | 本市教育員会在籍の社会科の専門的教育職員に確認の上で記載したのですが、日本海側の特色は降雪を意図したものであって、季節風の影響を「受けにくい」ではなく「受けにくい」と表現し、長野市が内陸性気候と日本海側の気候の狭間にある状態を表したもので、現状のままとします。  |

| No. | 内容区分       | ページ | ご意見・ご提案の内容  | ご提案・ご意見に対する考え方・対応  |
|-----|------------|-----|---|--|
| 6   | 長野市らしさ     | 6   | 長野市らしさの「豊かな自然」の部分では、「多様な生物が生育し」とありますが、動物はこの中に入っていないのでしょうか。動物は「生育」とは言わないものですから、お考えをお聞きしたいと思います。  | ご指摘のとおり「多様な動植物が生息・生育し」に修正します。  |
| 7   | 長野市らしさ     | 6   | 長野市らしさの「豊かな自然」のところで、「多様な生物」が「自然環境と生態系を健全に維持していくための基礎」となるならば、もう一つ「森林と」という言葉を記載しなければいけないと思います。動植物がそこに繁殖していたとしても、それを担う森林というものがなければ生態系の維持ができないと思うので、「基礎となる森林と多様な生物」とした方がいいかと思ひます。   | 上記の6を踏まえるとともに、「多様な動植物」は「様々な植物」を含んで表現していることから、「多様な植物」の集合体を「森林」と見ることができるため、現状のままとします。  |
| 8   | 長野市らしさ     | 6   | 長野市らしさの「都市としての機能」の中に高等教育機関の話がありますが、「信州大学」という固有名詞を挙げていいのでしょうか。   | 特定の固有名詞の掲載は公平性の観点を欠いていたことから、「複数の高等教育機関が」に修正します。  |
| 9   | 長野市らしさ     | 7   | 長野市らしさの「産業の構造」の部分では、「第一次産業では、農家数の減少や従事者の高齢化が進行しています。」とありますが、これは全国的にこういった事が進んでいて国家的な問題になっておりますので、あえて長野らしさの中に記載しなくてもいいのではないかと感じております。   | ご指摘のとおりであることと、産業・経済分野の基本計画（たたき台）との関係性を整理し、「～製造業も盛んです。また、第一次産業では、りんご、もも、ぶどうなどの果実が市場から高い評価を受けています。こうしたことから、産業間はもとより、産学金官など多様な主体の相互連携を強化することで「長野市らしさ」という付加価値と相乗効果を高め、更に競争力を強化できる可能性を有しています。」に修正します。 |
| 10  | まちづくりの基本方針 | 12  | まちづくりの基本方針の「持続可能なまちづくりの推進」のところで、「地球温暖化の防止や生物多様性の確保、限りある資源の有効活用など、直面する環境問題の解決に向けた取組」とありますが、「地球温暖化の防止や生物多様性の確保」は環境問題になると思いますが、「限りある資源の有効活用」は、環境問題とは別かなと思いますので、例えば「地球温暖化の防止や生物多様性の確保など、直面する環境問題の解決と、限りある資源の有効活用に向けた取組」としたらどうでしょうか。 | 「限りある資源の有効活用」は、環境分野の「人と自然が共生するまち」の実現を図る大きな柱のひとつとして掲げられている「循環型社会の実現」に向けた基礎になるものとして表現したもので、現状のままとします。  |
| 11  | まちの将来像     | 13  | まちの将来像の「ながの」を『ながの』にしてはどうでしょうか。  | ご指摘のとおり「幸せ実感都市『ながの』～"オールながの"で未来を創造しよう～」とします。   |

| No. | 内容区分   | ページ | ご意見・ご提案の内容  | ご提案・ご意見に対する考え方・対応   |
|-----|--------|-----|---|---|
| 12  | まちの将来像 | 13  | まちの将来像の説明に「価値観が多様化し行政課題が複雑化しているため、住民の福祉の増進を図る」とありますが、「価値観が多様化し行政課題が複雑化しているが、住民の福祉の増進を図る」の方が合っているのではないかと思います。  | ご指摘のとおりであり、「価値観が多様化し行政課題が複雑化していますが、住民の福祉の増進を図るとともに」に修正します。                            |
| 13  | まちの将来像 | 13  | まちの将来像の説明に「多くの市民が本市への誇りを胸に未来への希望を実感できるまちづくりに向け、全市を挙げて取り組むことを『“オールながの”で未来を創造しよう』』」となっていますが、これだと「市民」が「希望を実感できる」ではなく、「市民が」と「まちづくりに向け」が対応してしまっていて、「全市を挙げて取り組むこと」というのがなんとなくしっくりこない気がします。「多くの市民が本市への誇りを胸に未来への希望を実感できるよう、全市を挙げてまちづくりに取り組むことを『“オールながの”で未来を創造しよう』』」ではないでしょうか。ご検討いただければと思います。 | ご指摘のとおり「多くの市民が本市への誇りを胸に未来への希望を実感できるよう、全市を挙げてまちづくりに取り組むことを『“オールながの”で未来を創造しよう』』」に修正します。 |
| 14  | 土地利用構想 | 15  | 土地利用構想の「土地の適切な管理と有効活用」から下の部分で、見出しと本文が、わかりづらい表記になっているので直した方がいいと思います。   | ビジュアル的に見出しと本文の違いをわかりやすいように修正します。  |